

第6学年西組 家庭科学習指導案

「夏のさわやか計画を実践しよう」

学習指導者 笠原 千穂

1 学級（34名）の実態

（1）方法の習得を目指す自己調整力に関する実態

〔問題を発見して、課題を設定する力〕

家庭科の時間に次に勉強したいことを考えている子供は32名いる。しかし、いろいろなことに疑問をもっている子供は29名で、家庭科の勉強を始める前に、これから何をどうやって勉強するかを考えている子供は27名であった。実際の授業でも、自分の生活の中から見付けた疑問やしたいことを次の課題へとつなぐ姿や、どのようにその課題を解決し、したいことを実現するかを考える姿まではあまり見られない。

（2）教科に関する学級の実態

4月の授業開きの際に、家庭科で学習したいことを尋ねたところ、調理実習や布での製作など、何かを作る活動に比べて、服の着方や手入れについての学習への意欲は低かった。33名の子供が洗濯は生活の中で必要だと感じているものの、自分で洗濯をする子供は7名であった。洗濯したりその仕方を家の人に教わったりすることを面倒くさいと感じている子供が多く、これまで洗濯の題材は扱っていないこともあり、洗うとききれいになったという経験や自分にもできるという意識が低いことが考えられる。

習得を目指す「問題を発見して、課題を設定する方法」

分かったことを確認して今の自分に必要だと思うものからすべきことを決める

2 本題材で目指す『多様な他者と共に、自ら学びを進める子供』の姿

本題材では、快適さや持続可能な社会の視点から環境により快適な夏の過ごし方について考え、自分の生活に合う、夏を涼しくさわやかに過ごす工夫を見付けていく。題材の初めに、自分の夏の生活について振り返った子供たちは、「暑くてたくさん汗をかく」「熱中症になるかもしれない」など夏の生活の問題点から、「暑い日をもっと快適に過ごすための計画を立てて実践しよう」と題材のゴールを設定する。そして、知りたいことや試したいことの中から、今の自分により必要だと思うものを課題として設定する。課題を設定する際には、「夏の問題を解決するためにしたいことがたくさん見付かったね。どの課題から解決していこうかな」「みんなの考えだと虫刺されが多いね」「確かに嫌だな。長袖だと防げるけど暑いんだよね」「長袖で暑くない服ってあるのかな。他にも服に関係する問題もたくさん出ているよね」「確かに。実際に汚れに色をつけた服を見ると、たくさん汚れているのも分かってびっくりしたね」「そうだね。みんなの必要性が高いのは服かな」などと、知りたいことや試したいことの中で、改善する必要感の高い順に取り組む課題を設定する。そして、設定した課題について友達と様々な方法を試しながら解決していく。例えば衣服の手入れについては、お湯で洗ったり、つまみ洗いをするなど洗い方を工夫したり、洗剤を増やしたりしてみながら、どうすればよく汚れが落ちるかを試行錯誤していく。振り返り場面では、「洗剤の量は関係なく、水の温度を高くしたり洗い方を工夫したりすると効果的だと分かった」など自分が今日分かったことを捉えるとともに家庭生活で生かしたいことを振り返る。その後、今日分かったことを確認し、生活に必要だと思うものから次の授業では何を学ぶか決める。題材の最後には振り返りで書きためた生活に生かしたいことの中から、自分の家庭に必要だと思うものを選んだ「夏のさわやか計画」を考え、実践する。実践を報告し合って評価・改善しながら、夏を快適に過ごすための衣服の着方や手入れ、住まい方などについて経験を増やし考えを深めた子供たちは、これからも自分の家庭生活に必要な課題を設定、解決しながら、よりよい家庭生活の実現に向けて家庭生活を改善していくだろう。

3 題材計画と題材構成の工夫（本時 5/10）

次	学習の流れ	題材構成の工夫
一	① 夏の生活を見つめよう これまでの夏の生活を振り返って夏の問題点を見付け「暑い日をもっと快適に過ごすための計画を立てて実践しよう」と題材のゴールを設定する。それに向けて知りたいことや試したいことをリストアップし、衣生活が汗の不快感や日焼け、虫刺されなど多くの問題とつながっていることや、ニンヒドリンの実験結果で服の汚れを視覚的に捉えたことなどから、みんなの必要感の高さを認識して衣生活から学習する見通しをもつ。	【達成意欲を高める目標共有の工夫】① 夏の自分の生活の問題点を想起させ、暑い日をもっと快適に過ごすための計画を立てて実践しようという目標を設定する。夏の気温が年々高くなっていることが分かるグラフや、熱中症、地球沸騰化のニュースなどを提示し、夏の暑さや、暑さをしのぐためのエアコンの環境に気を付けるようにすることで、よりよい夏の過ごし方への意識を高められるようにする。主に衣食住の観点で取り組みたいことを考え、実際に家庭で実践するという見通しを共有する。
	②③ 夏の衣服の着方を調べよう 快適な衣服の着方について知りたいことを、教科書や通気性・吸水性・速乾性などの実験で調べ、涼しい着方などについて捉える。また②時間目だけでは全ての知りたいことリストを解決できなかったことから、解決したい問題として新しいものが出てきた際には問題カードを書き足せることを確認する。③時後半は調べたことを基に快適な着方について話し合い、衣服の着方についてまとめる。着方については解決したことから次に解決する課題を考え、脱いだ後の衣服を次もまた快適に着るために手入れについて考えることを共有する。	
二	④ 靴下を自分で洗濯してみよう 洗濯表示について確認し、毎日身に付けていて比較的小さく扱いやすい靴下に事前に汚れをつけて手洗いすることで手洗いの一連の流れを捉える。汚れの落ち方を観察したり、洗濯機で洗ったもの比べたりして、よりきれいに汚れを落とすにはどうすればよいかという疑問を見いだし試したい洗い方を考える。	【子供が自ら選択して、学びを進める時間】⑥～⑧、⑨ ⑥～⑧時前半は6西の知りたいことリストの中から調べることを調べ方（教科書、動画、実験など）を選び、各自で学びを進められるようにする。
	⑤ 靴下の汚れをもっときれいに落とそう 靴下の汚れをよりきれいに落とす方法を試す。自分が試したい洗い方で靴下の汚れをきれいに落とし、よりきれいに洗濯するために必要なことを捉える。次時からは自分で調べを進めていくことを共有し、食生活や住生活の中で、次に自分が取り組みたい課題を設定する。	
三	⑥⑦⑧ ○○について調べよう 食生活や住生活などについて、自分にとって必要だと思うものから選択して調べる。エアコンの効率的な使い方や風がよく通る換気の仕方、夏に適切な水分や塩分の補給などについて捉えたことを友達と共有する。	⑨時は自分の夏の問題ランキングを参考に、毎時間の振り返りで書かためている家で試したいことのリストの中から実際に家庭で実践する課題を決め、各自で実践計画を立てる時間とする。
	⑨ 夏のさわやか計画を立てよう 振り返り場面で書かためてきた家庭で試したいことのリスト中から、休日に自分が試してみたいことを決め、計画シートに記入する。	
	⑩ 夏のさわやか実践を報告し合おう 自分の実践報告を行い、友達と実践を評価・改善し合って、これからの家庭生活をよりよくしていこうと意欲を高める。	

4 方法の習得の段階に合わせた手立て 【夏の問題解決リスト】①～⑩

認知段階①	想起段階②～⑩
①時に「課題を決めるときには、より今の自分に必要だと思うものから選ぶ」という方法を教示する。考えられる課題の中から、前の時間に知りたいと思ったことや、より今の自分の生活の問題に合うものを選ぶことで、生活をよりよくするためにより有効な課題を設定できるというよさを伝える。	振り返り場面で「次にすることはどうやって選んでいたかな」と問いかけ、やりたいことリストと夏の問題点を確かめながら次時の課題を設定する。今の自分に必要なものから選ぶために必要なことを補助黒板に掲示しておく。

5 本時の学習

目標	汚れをよりきれいに落とす方法を考えて試すことを通して、汚れの落ち方には水の温度や洗い方が関係することを理解し、自分の生活に生かしたい工夫を見付けることができる。
----	--

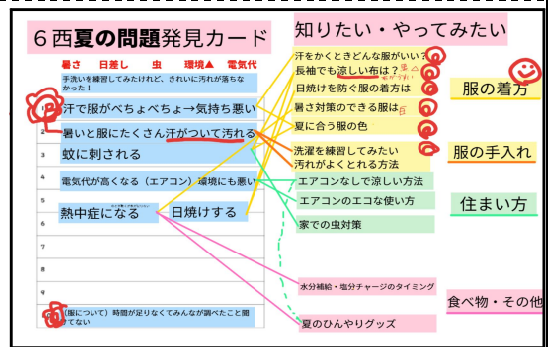
学習活動と手立て		主な子供の意識		
見 通 し	1 学習課題を確認する。	前の時間は靴下の洗濯を一通りやってみたけれど、汚れが落ちきらなかったよ。今日はすっきりきれいにしたいな。		
		靴下の汚れをもっときれいに落とそう		
行 動	2 自分の試したい方法で靴下を洗濯する。	どうすれば前回のよりも、もっときれいになるかな。自分の試してみたい方法で靴下を洗っていこう。		
		うちはお風呂のお湯を洗濯に使っているよ。お湯の方が汚れは落ちると思うな。	洗剤の量を増やせば汚れはもっと落ちると思うよ。前回よりもっと入れて洗ってみよう。	お母さんがつまみ洗いをしているのを見たことがあるよ。私もやってみよう。
		お湯で洗うと汚れが前より落ちたよ。汚れている部分をこすりしたいな。	汚れは前回くらい落ちたけれど、すぐの間に時間がかかるな。	洗剤の量を増やさなくても、つまみ洗いをすると落ちるよ。
		この結果を踏まえて、他の方法もやってみよう。		2分でだいぶきれいになることが分かったよ。
		お湯は効果があったよ。他の方法も全部一気に試すと、もっと落ちそうだ。	洗剤は増やすと大変だったよ。僕は、次はつまみ洗いをしてみよう。	このまま続けてこすってみよう。
		やっぱりすごく汚れが落ちる。でも洗剤のぬるぬるがなかなか落ちないな。	洗剤を増やすと、汚れが落ちた気はするけれどさすがが大変だね。	もみ洗いは効果があったよ。こするとどんどん落ちて気持ちいいな。
	3 全体で結果を共有する。	洗剤を増やす方法は、環境面でも時間の面でもよくないよ。洗剤の量を変えなくても、つまみ洗いとお湯を使うことは効果的だったね。洗濯表示を見て使うことも大切だったね。		
		4 学習を振り返り、次時の課題を設定する。 【夏の問題解決リスト】	靴下の汚れを前よりきれいに落とすことができたよ。	お湯やつまみ洗いで、汚れがよりきれいに落ちることが分かったよ。
自分の家でも足の裏が黒く汚れた靴下を洗ってみよう。家ではじっくりつけておいてから洗いたいな。	家にある洗剤だともっと落ちそうだよ。家の洗剤の表示を見て、自分で洗濯を試してみよう。			
これで衣の知りたいことは全部できたよ。次は何を調べようかな。				
今の自分により必要なものを選んで課題を決めるとよかったね。				
自分はエアコンを毎日使っていて環境に悪いという問題点が大きいから、住生活について調べよう。	自分は熱中症が問題点のランキングの上にあるよ。熱中症にならないように水分の多い食べ物を調べたいな。			
次も、問題点に合わせて、必要だと感じる物から調べていこう				
振 り 返 り				

評価	汚れをよりきれいに落とす方法を考えて試すことを通して、汚れの落ち方には水の温度や洗い方が関係することを理解し、自分の生活に生かしたい工夫を見付けている。また、自分に必要なことから次時の課題を選んで設定している。 【方法：発言、様相、記述】
----	--

6 本時の詳細

～見通し～ 学習活動1

前時に自分の靴下を手洗いましたが、練習で行った洗い方では、手順は分かったけれど汚れを落としきれなかったことを写真で振り返る。前時の終わりに設定した本時の課題とその理由を確認する。その後、落とし切れなかった靴下の汚れをどうすると落とせそうか考えた様々な方法の中から、学校で試せるものを選択し、自分が本時に試してみたい工夫を決めていたことを確かめる。また、試してみる際に気を付けること（そろえる条件について、使える道具や場所について）を確認する。



【6 西夏の問題解決リスト】

～行 動～ 学習活動2・3

それぞれの班に、お湯と洗面器、洗剤、もみ洗い・つまみ洗いの方法を印刷、ラミネートしたものを用意しておく。お湯を使うか、洗剤の量を増やすか、洗い方を工夫するか、洗濯時間を長くするかを自分で決めておき、子供たちは前回同様に自分で汚れをつけた白い靴下を手洗いで洗濯していく。その際、洗う時間は2分に統一し、汚れを落とすのに有効な条件がどれか見付けやすくする。また、前回もみ洗いで一通り洗濯の練習をした際に少し汚れが残っている靴下も持っておき、汚れの落ち方を比べられるようにする。同じ班の子供たちと、それぞれ友達の試している方法やその効果を見合ったり、アドバイスし合ったりしながら自然に交流を行う中で解決に向けて取り組めるようにする。前回汚したもので、洗濯していない靴下と、今回の実験用に汚れをつけた靴下の、合わせて三つの汚れている靴下を持たせておくことで、1回目の結果を受けて、活動時間内であれば試したい他の方法や友達がしている方法も自由に試せるようにしておく。また、学習支援アプリで靴下の洗濯前後の写真を撮影して提出することで、汚れがどれくらい落ちたかを交流の際に共有できるようにしておく。行動場面の最後には、自分が試した方法とその効果を全体で発表し合い、洗剤の量を増やすことはすすぎの回数が増えることにつながり、環境の視点や、時間がかかるという点からも、その効果に比べてデメリットが多いことを共通理解する。そして、前時に扱った洗濯表示についても一度取り上げ、お湯の量やつまみ洗いは効果があるものの、お湯が使えない衣類など、実際に家で行う際には洗濯表示を確認して行う必要があることも確認する。

学：くつ下の汚れをもっときれいに落そう

自分が今日すること（どれかに○）	効果はどうだった？（◎・○・△）
お湯	◎・○・△
洗剤を増やす	◎・○・△
もみ洗い・つまみ洗いをする	◎・○・△
洗濯する時間を増やす	◎・○・△

前回の洗濯の条件

- 水道の水1L
- 洗剤0.7g
- 水の中で回して洗う
- 「洗う」時間2分
- 「すすぎ」2回
- しぼって脱水

【本時のノートの例】

～振り返り～ 学習活動4 【夏の問題解決リスト】

学習支援アプリを用いて振り返りを行う。1枚の振り返りカードに振り返りを書きため、その視点に「家で試してみたいこと」を入れておくことで、題材末に自分の「夏のさわやか計画」を立てる際にそこからより生活に必要なものを選び、自分が家で試してみたいことリストとしての役割も果たせるようにする。振り返り発表後に、6 西の夏の問題解決リストを提示して解決したものには丸印をつけていき、「衣生活は全部解決したから、次は食生活と住生活だね。次にすることは、どうやって選んでいたかな」と問いかけ、自分の生活の問題発見カードを見ながら必要だと思うものを次時の課題として設定する。「自分はエアコンを毎日使っていて環境が気になる。家の人も電気代のことで困っているから住生活について考えたい」などと考えている姿を、「分かったことを確認して必要だと思うことを考えたから、次の課題が見付かったね」と称賛する。

洗濯をした。靴下の汚れが落ちずに残っていて残念だった。	もっとこすれば落ちると思う。家ではお風呂で洗ったりしているからお湯を使って洗ってみたい。
お湯で洗ったらやっぱり落ちた。でも服によっては30℃までしかダメなものもあるから気をつけたい	洗濯表示を見ながら洗濯する。家にある専用の洗剤を使うとどれくらい落ちるのか試したい。

【振り返りカードに書きためた家で試したいことの例】